

病理診断センターの紹介

はじめに

病理診断センターは、診療センターの1つとして2014年4月に設立され、2015年4月からは病理室が診療技術部から当センターに帰属することとなり、細胞診・生検・手術検体・術中迅速組織/細胞診および病理解剖の診断に必要な病理標本の作製から病理診断報告に至るまでの全ての業務を担っています。病理診断の対象は当院の臨床各科における、あらゆる臓器から採取された検体であり、その疾患は良性から悪性まで多岐にわたります。従来の細胞・組織形態に基づいた病理診断に加え、免疫組織化学染色や遺伝子検査を施行し、がんであれば原発巣や分化方向の決定、階層化診断、治療効果予測因子（乳癌におけるHRやHER2発現の有無等）の確認等を含む病理診断は、医療の向上に大きく寄与するものと考えています。当センターでは、臨床医との密な連携の元、より質の高い病理診断を追求することを目的に、病理技術と診断精度の向上を日々心掛けています。

診療体制

当センターは病理診断部門と技術部門（病理室）の2部門で構成されています。

<病理診断部門>

病理診断は病理専門医2名と非常勤3名が、細胞診断は細胞診専門医2名が、病理解剖は解剖資格を有する医師がそれぞれ担当しています。

診断に関わる検体が全臓器に渡るため、専門医の専門性（得意分野）を考慮し、センター発足時から臓器別に診断がされてきました。現時点では、常勤医の専門領域である乳腺と、泌尿器、皮膚、脳、骨・軟部以外の臓器



病理診断センター
センター長

田代 敬

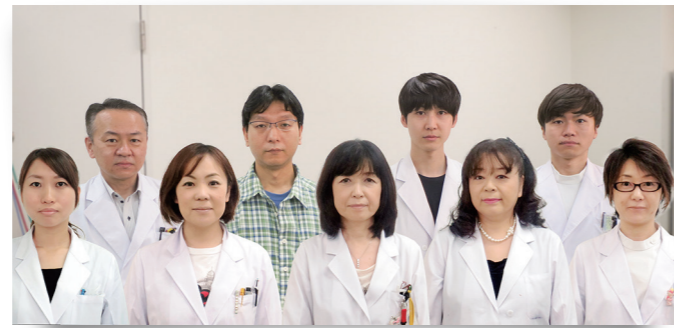
病理診断科科長

徳島大学を平成9年に卒業。

日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会
専門医・指導医、病理専門医研修指導医、
細胞診教育研修指導医等の資格を持つ。

については非常勤の先生方に診ていただいています。特に、乳腺・血液疾患/リンパ節・皮膚科領域に関してはCPC (Clinico-Pathological Conference) の開催により診断精度の向上に努めており、診断に難渋する症例に関しては神戸大学、奈良県立医科大学、兵庫県立がんセンター等の病理専門医と連携し診断しています。

施設認定として日本病理学会研修認定施設認定 B、日本臨床細胞学会施設認定、日本臨床細胞学会教育施設認定を受けており、今後は研修医・研究生の教育や研究体制の充実を図りたいと考えています。2018年2月より当院における研修システムの一環として初期研修医の受け入れを開始し、病理検体の取り扱い、病理診断の基本、病理解剖の基本手技等の指導を行っており、受け入れた研修医のうち1名は基幹病院で病理専攻医となっています。



病理診断センターのメンバー

<技術部門（病理室）>

臨床検査技師8名（うち非常勤2名）が所属し、細胞診検査には国内・国際細胞検査士の資格取得者（6名）と国内細胞検査士の資格取得者（1名）が担当しています。

技術部門は、病理組織（生検・手術検体）、細胞診、術中迅速組織 / 細胞診（OSNA法を含む）の受け付けや標本作成から免疫組織化学染色、病理解剖の介助、新鮮切除検体のマクロ写真の撮影等の業務を行っています。また、外来での細胞診検査にも素早い対応と正確な診断が出来る様に心がけており、乳腺・甲状腺の細胞診、気管支鏡、ERCP等の検査では各診療科に outgoing 標本作製を行っています。特に乳腺に関しては採取細胞量の判定を行うなど、チーム医療の一員として積極的に業務に取り組んでいます。さらに、病理解剖症例のCPC、悪性リンパ腫検討会、術後乳腺カンファランス、術後消化器カンファランス等の院内勉強会にも参加しています。

日本臨床細胞学会の施設認定および教育施設認定を受けており、診断精度の向上に努めるため、日本臨床衛生検査技師会精度管理、兵庫県衛生検査技師会精度管理、日本臨床細胞学会施設認定制度外部制度管理にも参加しています。

実績

検査件数（2019年度）

組織検査は生検3484件（前年度比110.9%）、手術材料1797件（同100.3%）、人間ドック440件（同110.8%）、健診158件（同146.2%）、他院からの持ち込み標本の診断（セカンドピニオン）221件（同170%）、合計6100件（同109.6%）となっています。細胞診検査は6473件（同98.3%）、術中迅速検査549件（同100.7%）、病理解剖13症例（同162.5%）となっています。また、これらの検査に付随して、免疫組織化学染色1202件（同104.9%）、遺伝子検査111件（同78.7%）が行われています。

細胞診検査はほぼ例年並みですが、組織検査および術中迅速検査は前年度実績を上回っており、特に人間ドックおよび健診の組織検査の増加が目立っています。自動免疫染色装置導入後より診断の客観性の向上を目的とした免疫組織化学染色の件数は増加していますが、遺伝子検査は減少しています。これはマルチパネル検査導入によるもので、コンパニオン診断の普及はさらに続き、今後も増加が予想されます。

新入職医師（4月1日付）

診療科	役職	氏名
泌尿器科	医長	宮崎 彰
脳神経外科	医長	橋村 直樹
循環器内科	医長	杉崎 陽一郎
形成外科	医長	多田 惇
脳神経外科	医師	森田 匠
泌尿器科	医師	戸邊 泰将
消化器外科	医師	穴戸 裕
放射線診断科	専攻医	三木 智子
乳腺科	専攻医	大久保 ゆうこ
乳腺科	専攻医	多山 葵
総合内科	専攻医	橋田 恵佑
消化器外科	専攻医	新藏 秋奈
総合内科	専攻医	朝原 ひかり
総合内科	専攻医	山岡 匠
	臨床研修医	生成 諒
	臨床研修医	小笠原 康貴
	臨床研修医	清原 あすか
	臨床研修医	沼田 壮典
	臨床研修医	村田 和毅
	臨床研修医	吉田 絵美



退職した医師（3月31日付）

診療科	役職	氏名
病理診断センター	センター長	藤盛 孝博
循環器内科	医長	本庄 友行
形成外科	医長	北野 豊明
泌尿器科	医長	安福 富彦
放射線診断科	医長	川口 晴菜
脳神経外科	医師	坂東 鋭明
脳神経外科	医師	三神 和幸
呼吸器内科	医師	井上 明香
血液内科	医師	青山 有美
膠原病リウマチ科	医師	天野 典彦
呼吸器内科	医師	三好 琴子
泌尿器科	医師	平田 淳一郎
呼吸器外科	医師	芳賀 ななせ
総合内科	専攻医	桑原 直也
総合内科	専攻医	池内 美貴
総合内科	専攻医	清水 亜希子
総合内科	専攻医	法貴 真也
総合内科	専攻医	山本 浩生
総合内科	専攻医	長野 知之
乳腺科	専攻医	大段 仁奈
乳腺科	専攻医	大山 友梨
乳腺科	専攻医	泉 愛
	臨床研修医	亀井 隆史
	臨床研修医	都 史哉
総合健康管理センター	副部長	木長 健

開業医探訪

Vol.57 かしもと眼科医院

今回は、甲南山手駅から南へ徒歩3分、小児眼科・神経眼科を中心に、日帰り白内障・緑内障手術も行っている「かしもと眼科医院」へ訪問致しました。現在、神鋼記念会の眼科ドックを担当しておられます。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

2018（平成30）年11月に診療を始め3年目になります。元々神戸出身で、兵庫医科大学で12年勤務後、現在も市内の眼科クリニック勤務や有料老人ホームの眼科かかりつけ医をしておりますので、東灘区での開業を決めました。

— どのような患者さんが来院されますか？

これまで小児眼科や片側顔面痙攣などの神経眼科（神経眼科相談医）を中心に診療してきた経緯もあり、専門医が少ないことから遠方から患者さんが多数来院されます。また、副院長による白内障や緑内障、硝子体の日帰り手術も行っています。できる限り患者さんに負担のかからないよう短時間で精度の高い手術を行っています。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

他の眼科では診断が難かった疾患を抱えて、多くの方が来院されます。クリニックレベルでできる範囲の検査を行い、正確な診断ができるよう努めています。子どもの場合は、キャラクターグッズやご褒美のシールなどを待合室や診察室に準備し、できる限り診察に興味を持ってもらいながら緊張されないよう心掛けています。内装は元々カフェを想定して作られていたスペースということもあり、リラックスしてお待ち頂ける雰囲気となっています。

— ひとこと

最近では生活週間の変化で、子どもの近視が強くなってきています。当院では「マイオピン」（低濃度アトロピン）を使った近視抑制治療を積極的に行っています。成人ではリモートワーク等もありVDTシンドロームの方が増えており、パソコン作業に合わせたメガネの処方なども行っています。お困りの際はお気軽にご相談頂ければと考えています。

かしもと眼科医院

〒658-0011 神戸市東灘区森南町1丁目9番7号
TEL：078-452-2022
院長：榎本良亮

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
15:30～19:00	○	○	●	/	○	★	/

●…予約制：水曜午後は手術のため診療開始時間が遅れることがあります。お手数ですが、外来受診希望の方はお電話でご確認と予約をお願い致します。外来は代診での対応となります。

★…14:00～16:00（第2土曜・第4土曜のみ診療）

休診 木曜午後、土曜午後（第2・第4以外）、日曜、祝日

〔(国指定) 地域がん診療連携拠点病院〕の認定を受けました。

当院は令和3年4月に、厚生労働大臣から『地域がん診療連携拠点病院』の指定を受けました。専門的ながん診療を提供するとともに、地域のがん診療の連携協力体制の整備やがんに関する相談支援情報の提供を担いながら、他の医療機関との連携と支援を相互に行いながら、地域全体のがん診療の水準を高めていきます。

電気設備法定点検に伴う
救急患者の受け入れ休止について

当院では2年に1度の電気設備法定点検を実施致します。それに伴い、次の日程で救急患者の受け入れを休止させていただきます（当院かかりつけの患者含む）。

先生方におかれましてはご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【休止期間】

2021年5月3日（月）17時～5月4日（火）17時

月曜日（祝日）外来診療実施について

昨年度に引き続き、次の日程（月曜日・祝日）におきまして外来診療を実施致します。

※休診の診療科もございますので、地域医療連携室を通じてご予約下さいますようお願い致します。

【開院日（2021年度）】

5月3日・8月9日・9月20日・2022年1月10日

【ご予約・各種お問い合わせ】

地域医療連携室

電話：078-261-6739（直通）

FAX：078-261-6728（直通）

開室時間

月曜日～金曜日 8時30分～19時 土曜日 8時30分～12時

Contents

■特集 病理診断センターの紹介

■開業医探訪

■インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47

TEL:078-261-6711（代表）

FAX:078-261-6726

URL:<https://shinkohp.jp>

発行責任者：理事長 山本 正之

編集責任者：神鋼記念病院広報委員長

松本 元

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院

🔍 検索

<https://shinkohp.jp>